

令和7年度第2回行革意見交換会まとめ

第2回意見交換のテーマ

- ①協働を考えるとときにどのような相手方が考えられますか？
(対話するグループや話し相手は誰だと思いませんか？)
- ②その相手方と協働できそうなことは何があると思いませんか？
(対話するグループや話し相手の強み・得意なことは何だと思いませんか？)
- ③その相手と協働することでどのような良いことがあると思いませんか？
(協働することでどのような未来・相乗効果が生まれると思いませんか？)

まとめ①

①協働の相手 (対話する相手)

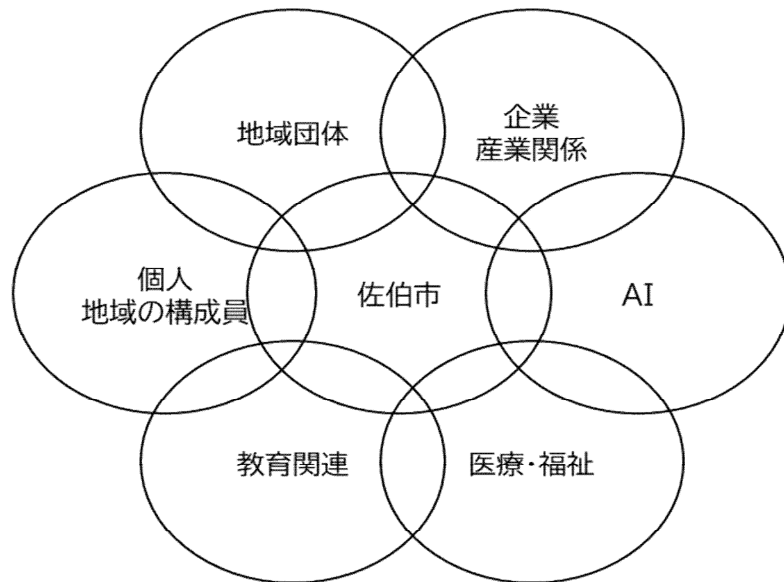
【各班のアイデア】

- ・元気な高齢者、ベテラン世代
- ・市外からの通勤者
- ・学生(小・中・高校・大学生)
- ・子育ての終わったお母さんたち
- ・障がい者
- ・教育コーディネーター
- ・SNS視聴者
- ・観光客、リピーター
- ・観光まちづくり佐伯
- ・フリーランサー
- ・コミュニティ協議会
- ・NPO
- ・AI(ChatGPT)
- ・教育機関(幼保・小・中・高校)
- ・企業(市内or市外)、大手企業
- ・コンビニ、スーパー
- ・病院
- ・介護事業者
- ・金融機関
- ・商工会議所

etc.



協働の相手方は、
個人単位や地域団体、企業などの**グループ単位**があり、
AIなど人でなくても可能性として考えられる。



「点(単体)」ではなく、「面(複数)」で
広大な面積をもつ佐伯市を支えることができる

まとめ②

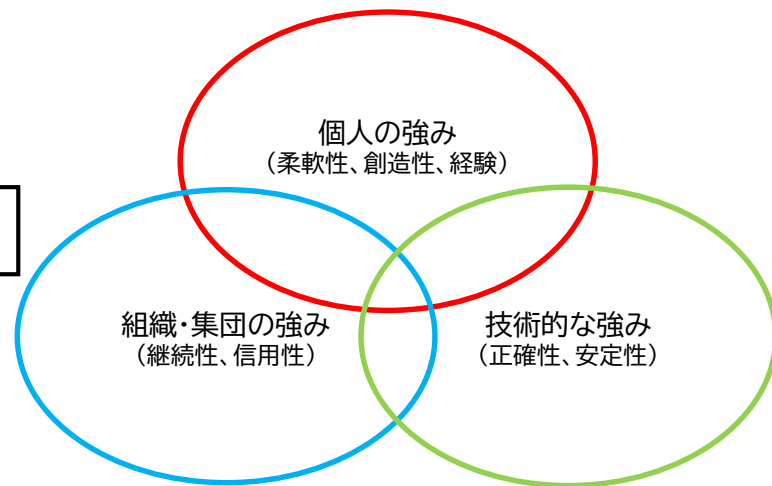
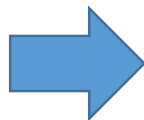
②協働できそうなこと
(相手の強み・得意なこと)

【各班のアイデア】

- ・子どもの見守り
- ・高齢者の見守り
- ・人材
- ・機械操作が得意
- ・タブレット操作が得意
- ・家を訪問している
- ・若さ、体力がある
- ・生活の知恵がある
- ・子どもの発想
- ・子どもたちの居場所づくり
- ・営業時間(24h)、集客力
- ・行政サービスとの親和性
- ・人とのつながり
- ・違う視点、外からの視点
- ・雇用の受け皿
- ・動画作成、広告作成
- ・トレンドを捉える力
- ・伝統芸能の継承
- ・効率的、精度が高い

etc.

「強み」を3つに分類



○個人の強み

⇒年齢や性別等それぞれ異なる立場・視点、経験から、
柔軟な発想を生むことができる。

○組織・集団の強み

⇒企業や地域団体等取り組みやサービスを
継続的に行うことができ、信用性が高い。

○技術的な強み

⇒AI等一定の作業工程を正確に安定して行うことができる。

それぞれの強みが掛け合わさることで、
相乗効果が生まれる

まとめ③

③協働することである良いこと
(未来・相乗効果)

【各班のアイデア】

- ・地域の高齢者の生きがいをつくる
 - ・地元企業の働く人確保
 - ・親の安心感や生活の知恵の学び
 - ・地域の環境保全、維持
 - ・新しい挑戦
 - ・行政拠点の集約化
 - ・住民サービスの維持・向上
 - ・若い世代によるまちづくり
 - ・住民サービスの維持・向上
 - ・たのしい
 - ・地域人材になる
 - ・移住 × 仕事 × 教育
 - ・多様な世界
 - ・弱者のための自治体(優しさ)
 - ・つながり支えあう地域に
 - ・市役所だけでは対応できない問題を解決できる
 - ・防災対策とリスクアセスメント
 - ・持続可能な地域が生まれる
- etc.



目指す姿

佐伯に関わる人たちが、

- ・安心できる
- ・挑戦できる
- ・生きがいをもてる
- ・多様性を認め合う



そのために、

協働することで、

- ・地域にいまある資源を最大限活かす
- ・生活満足度(Well-being)を維持・向上できる

⇒人口が減少しても持続可能な佐伯市を創る